

その他の食料品製造業における起因物なしを起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	16～17	工場内で高さ50cmの番重から納豆の袋を（300g）1つずつ面台に移動していたとき、腰に痛みが出て、その場で立てなくなった。	47	100～299
1	19～20	工場内廊下に置いてある食材を乗せる台車を取りに旧スープ室から廊下に出て左に曲がった時に足を滑らせ体勢を崩し、右足を痛めた。	44	100～299
1	14～15	事業所内給食室において、ワゴンのトレイを洗う為に、トレイをシンクの水に浸ける作業をしていたところ、突然腰に激痛が走り、動けなくなってしまった。	46	1～9
1	15～16	配送を終えて、工場へ戻って荷卸しをしていた。荷卸し中に荷物を持った他の人とぶつかった時、右手首をひねってしまった。	51	—
1	11～12	被災者は当社作業場内に於いて、商品の入ったコンテナを台車の上に積み上げる際に反動をかけて置いたため、背中に痛みが生じた。	67	50～99
1	0～1	左手にしびれを感じ、中指にも痛みが出始めたため検査した結果、手根管症候群と中指ばね指と診断された。	61	—
2	10～11	当事業所内において、コンベアーより流れてくる製品が入った発泡スチロール（重さ6kg、縦28cm、横41cm、高さ25cm）をパレットに積む際、左膝を捻って痛めたものである。	42	50～99
3	2～3	もやしを選別するステージ上で足を滑らせてしまい、転倒しないように強く足を踏んばった際、右足首付近に痛みが生じた。その後も痛みがひかず、右足の骨に亀裂が入っていることが分かった。	35	50～99
				100

3	9~10	ライスセンター内資材倉庫で台車から油缶（約15kg）を降ろしているときに、腰の右側に痛みがはしり身動きができなくなった。	43	~ 299
3	5~6	当社工場内のタマゴの仕込み中、12kgのタマゴが入ったバケツの中身を大きなバケツに移す作業をしている時、6回分でいっぱいになるところ、3回目で腰に痛みが生じ動けなくなった。少し休んでから腰にコルセットを巻いて作業に戻ったが、その後、痛みが治まらなかった。	72	10~ 29
3	16~17	洗浄機の取っ手のネジを締めようと思いドライバーを取りに行き、洗い場手前のステンレス床で滑って手をついて骨折した。	51	30~ 49
4	7~8	工場1階食材準備室内にて茹で卵（既製品）の出荷中、150ヶの茹で卵と保存液で約14kg、入れる番重約2kgと計16kgのものをうっかり2段一度に持ち上げてしまった。その際、重量の負荷が原因と思われる圧迫骨折を負った。通常男性でも2段同時に持つことはなく、本人もこの日初めて不注意で2段一度に持ってしまった。	64	~ 499
4	8~9	洗浄機用のプレートラックをシンクに置こうとした際、シンクに置き損ね、シンクにプレートラックがあたり、その反動でバランスを崩し、後ろに転倒し、腰椎圧迫骨折した。	69	1~9
5	16~ 17	径200A・長さ2mの配管を設置するために、一人で移動させようとした時に腰に痛みを感じた。その日の作業の後片付け（足場の撤去）をしている時にさらに強い痛みを感じ、その後も痛みが持続した。	40	30~ 49
5	10~ 11	当社工場3階で味噌仕込みの作業中に、放冷機を移動しようとして3人で機械を動かそうとした時に足に力が入り、何にもぶつけていないのにくるぶしをひねる感じとなり痛みが発生した。	59	1~9
5	17~ 18	玉ねぎの芯抜きを行う際、左手の親指と手首を回しながら玉ねぎを持ち作業を行ったあと、左手首に少し痛みを感じた。翌日も同じ作業を行ったところ、手首は晴れ、紫色に変色し、激痛を感じた。	63	~ 299
	21~	流し台にて20?プラスチック容器を洗浄する作業で、通常はシンク内に直接置いて洗浄するところ、通常より多い6本の洗浄になり、20?の洗浄液が入った容器を		10~

5	22	床に置いた状態から高さ80cmのシンク内まで持ち上げ、最後の6本目を持ち上げた際に腰にブチツとなり痛みが生じ、その後、体が動かなくなった。	56	29
5	2~3	体調不良で早退すると報告を受け、本人が現場を後にし帰宅前に女子トイレへ行ったところ、目眩がしてそのまま意識を失い、転倒した時に左太股を強打して骨折した。	68	500 ~ 999
6	14~ 15	給食の食器等の載った台車が降りてくる、リフト場へ向かう調理場の出入口外で、台車を引き取ろうと待機していた。台車の到着を示すランプが点灯したので、駆けて取りに行こうと左足を踏み込んだ際に、膝を捻った。	56	1~9
6	12~ 13	午前の作業後、「立ちくらみがする感じがする」と訴え、休憩室で休んでいた。本人が1人でトイレに行った際に意識を失い、トイレ内のどこかの場所に左まぶた上をぶつけ切り傷を負った。	54	30~ 49
6	7~8	工場の肉ラインにて、肉をスライサー投入時、折れ曲がっている少し凍った肉の原料を、まっすぐに直そうと力を入れたところ手が滑ってしまい、左手親指を反対に捻り脱臼を負う。その後、痛みがあったものの腫れもなかったため、数日様子を見ていたが、痛みがなかなかひかなかった。	22	50~ 99
6	8~9	当社工場内で豆腐の製造中、豆乳の入った型箱をプレス機のレーンに乗せるため持ち上げようとした時、型箱を載せた台車を足で押してしまい、台車が動いて、少し離れた状態で持ち上げようとしたため、通常作業時より異常な負荷が腰にかけ、腰を痛めてしまった。	26	50~ 99
7	15~16	厨房にて老健（併設）の配膳車に盛り付けた小鉢を差しこむ作業をしていた時、配膳車下段に差しこもうと一度しゃがみ、片手にトレイを持ったまま立ち上がろうとして、バランスを崩して転倒、身体を支えられずに手首を捻挫してしまった。	53	10~ 29
7	9~10	冷蔵庫前の床に置いてある、牛乳（900ml×6本）1ケースとソフトクリームミックス（3000ml×3袋）8ケースから右手で取り出して冷蔵庫へ入れる作業をしている時に、突然右肩に痛みが出た。しばらく様子を見ても取れないので病院を受診したところ、腱板炎症との診断。しかし痛みは取れず別の病院で診察したとこ	51	10~ 29

		ろ右肩腱板断裂と診断された。		
7	7~8	工場内の更衣室で作業服のズボンをはこうとして滑り、前のめりに倒れその時に左ヒザに体重がかかり負傷した。	54	300 ~ 499
7	9~10	パレット積みされた補材が入荷したので、フォークリフトの爪幅をパレット幅に合わせる作業を実施していた所、腰に痛みが発生した。	30	1000 ~ 9999
7	5~6	食材のハムをカットする作業中、番重に入ったハム（15kg~20kg）を両手でかかえ、作業台の方に移動させた時、右手に痛みを感じ、労務に行き、湿布を貼ってそのまま最後まで作業を続けて帰宅したが、痛みがひどくなってきた。検査の結果、右親指下部（手のひら）の部位が骨折していると診断を受ける。本人に確認したところ、番重をかかえて移動させただけで、何かに手をぶついたりは一切なかったと回答している。	22	500 ~ 999
7	8~9	ベジタブルセンター加工場において野菜くずの入ったコンテナ（重さ15kg）をしゃがんで持ち上げようとした時に腰に激痛があった。痛みが続き、ぎっくり腰でしばらく安静が必要と診断された。	63	50~ 99
7	23~ 24	充填豆腐帯掛け包装ラインにて検品作業中、突然耳が遠くなり、意識をなくし転倒した。従業員に介抱され意識はすぐに戻ったが、転倒した際に左手首を床につき骨折したと思われる。	55	50~ 99
7	11~ 12	調味料室にて、調味料を出す作業をしているとき、15kg入りの味噌が入った容器を台車にのせる作業中、自分の顔の高さまで15kgの味噌を持ち上げた。その際、背中に痛みがあったので体を伸ばしたとき、左脇腹に強い痛みがはした。	45	30~ 49
7	10~ 11	コンテナ箱に入った10~20kg位の人参材料を荷台車に積み込み中、1m70cm位の高さに上げたとき、左肩がビリッと痛くなった。その後、塗り薬を塗って様子を見たが、挙上できなくなった。	58	1~9
9	8~9	工場内更衣室で始業準備中、右足を誤って捻ってしまい負傷した。	57	100 ~

				299
9	15～ 16	事務所冷凍庫内での出庫作業中、10kgの荷物を持ち上げた時、腰に痛みを感じ、違和感が出た。	48	30～ 49
9	11～ 12	味噌詰めした製品（1.1kg/本）が入った段ボール（7.3kg/ケース）を運ぶ作業中に、腰に痛みが発生した。	46	300 ～ 499
9	7～8	被災者が夜勤業務を終えた後、工場内で休息していた、期間中に実施していた定期健康診断を受診するため、1F廊下を食堂から会議室へ移動していたところ、男子トイレから出てきた従業員と衝突し、尻餅をつくような形で転倒した際、腰部を痛めた。	57	500 ～ 999
9	16～ 17	製造二課原料処理室にて急凍庫に両手で原料容器を運搬しようとしたところ、入口の床に氷が張っていることに気付かず右足を滑らせそうになった、その際、左足を踏ん張り足首を痛めてしまった。	48	100 ～ 299
10	10～ 11	当社工場内において製麺作業中、こねた麺生地をタライに入れて（65kg程）約3m移動（運搬）しようと中腰の姿勢で力まかせに引っ張ったところ、腰を負傷した。	49	30～ 49
10	14～ 15	空になったエスレンコンテナ（重量約2kg）を5個を一度に抱えて、トラックの荷台から降ろそうと、荷物を持って台車に載せるため体を捻った瞬間に、腰を受傷したらしい。	49	10～ 29
10	15～ 16	作業現場でサンテナを3つ重ねて台車で運んでいるときにサンテナが崩れ落ちそうになり、支えようとしたときに足を捻った。	49	100 ～ 299
10	11～ 12	包装室、冷蔵保管庫内でチルド商品（1ケース16kgの物が5段）をキャリーに乗せ、男性社員と二人で保管用パレットに1ケースずつ荷物を持ち、乗せ換えようとしていた際、腰を痛めた。	63	100 ～ 299
11	0～1	野菜処理室内で大根カットの作業中に突然意識がなくなり、そのまま後ろに倒れた。	47	100 ～

				299
11	17~ 18	自社工場内で食品を冷凍板に並べる作業中に気分が悪くなり、目眩がした。作業を中止し、壁にもたれ掛かっていたところ意識が遠のき床に倒れ、その際に左頭部を打った。	44	~ 299
11	16~ 17	製品の漬物の発送及び製品の品質管理について上司と話し合いを行っていたが、途中意見の違いから口論となり上司より一方的に暴力を受け負傷したものである。	57	1~9
11	17~ 18	盛り付けトレーを落とし拾う為、屈んだ際バランスを崩し後ろに転倒しかけ、左腕で体を支えた為、肩、腕を打撲した。	55	50~ 99
11	12~ 13	被災職員は、調理業務に従事しており、被災当日も勤務場所である小学校の給食室において、温食を杓子を使い、学級用の温食器に移そうと、温食を入れた杓子を右から左に動かしたところ、突然腰に激痛を感じ負傷したものである。	55	1~9
12	10~11	水産包装値付4号機にて盛付コンベア付近を歩いて移動していたところ、前方にいた従業員の足と接触し、前のめりに転倒してしまい胸部を強打し打撲した。	57	300 ~ 499
12	12~13	1F加工場で、原料の準備確認や保管サンプルを取る作業をしているときに、保管サンプルを取るためのビニール袋を別室に取りに行き、空の状態のビニール袋のみを持って、冷蔵庫に入ろうと移動しているときに、急に目の前が真っ白になった。何かに掴まろうとしたが倒れ、床に後頭部をぶつけて頭と首に痛みがあり、救急車で搬送された。	62	~ 299
12	14~15	本社工場1階の流し場にて、流し場側面の油汚れを原液洗剤を使用してスポンジで擦っていたところ、手が滑り、右手首に痛みがはしった。当初はうずくまる程の痛みではなく、痛みが出てから直ぐに治るであろうという認識で、負荷を軽減しながら作業を続けてきたが、数日経っても痛みが治らなかった。	38	~ 499

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html

